

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012 年 11 月 30 日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	<p>(フリガナ) ナルミセイトウカブシキガイシャ</p> <p>鳴海製陶株式会社</p> <p>(団体名)</p> <p><small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small></p>
応 募 担当者 連絡先	<p>団体名： 鳴海製陶株式会社</p> <p>所在地： 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-8 虎ノ門 4 丁目 MT ビル 4 階</p> <p>部署名： マーケティング部 商品企画課</p> <p>役職名： 課長</p> <p>氏 名： 野田 幸宏</p> <p>TEL： 03-5776-6305 FAX： 03-5776-6310</p> <p>E-Mail： y-noda@narumi.co.jp</p>
ホームページ	http://www.narumi.co.jp
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>食器・洋食器の世界ブランド「ナルミ」の鳴海製陶株式会社。 ボーンチャイナ等、陶器・陶磁器の製造販売。</p> <p>“いいものとの出逢い” がつくりだす、上質でしあわせな時間をお届けする NARUMI。</p> <p>わたしたちは 1946 年の創業から洋食器を作り続けています。 ボーンチャイナの量産化に日本で初めて成功したボーンチャイナのリーディングカンパニーとして、 ボーンチャイナ製食器の色・かたち・手触り・音など、すべてにこだわりつづけてきました。</p> <p>五感に訴える上質な食器をつくるために、高い製造技術力や、デザイン力を磨き、その力は今、ボーンチャイナ以外のすべてのチャイナウェア、グラスウェアにも強く受け継がれています。</p>	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data1ist.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

洋食器「フローラルパラダイス」シリーズの製造・販売

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver. 1.1)」に基づく分類

http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

3①-1に記載した算定範囲と同じ

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続していた事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

2008年10月1日以降、現在も継続中

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。

http://www.e-narumi.com/SearchCategoryTop?CID=120&LAYER=3&LINK_NO=2

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)

①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

「フローラルパラダイス」シリーズの製品について原材料輸送時、製造工程および製品輸送時の CO2 排出量を算定範囲とした。1 容積単位あたりの CO2 排出量を算出し、個々の製品の容積に比例して排出量を定めた。

①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

ガソリン使用量、LPG 使用量、電力使用量

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- ✓ 節電 ✓ 節水 ✓ 廃棄物の減量化 ✓ 省電力機器の導入 ✓ 公共交通機関の利用・呼びかけ
□ その他（具体的に _____)

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合（%）についても記載してください。【例】J-VER（○%）、CER 等（△%）など

京都クレジット 70%
国内クレジット 30%

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

<京都クレジット CER>
IN0800/インド・マハラシュトラ州/4.2MW 風力発電プロジェクト
BR0575/ブラジル・サンタカタリナ州/9.0MW 風力発電プロジェクト
IN0991/インド・タミルナドゥ州/468MW 風力発電プロジェクト

<国内クレジット>
0212/広島県内の食品加工工場におけるボイラー更新による排出削減事業

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

CER/IN0800 44 t 2009.5.19 償却
CER/IN0800 30 t 2009.10.29 償却
CER/BR0575 60 t 2010.2.9 償却
CER/IN0991 100 t 2010.10.4 償却
国内クレジット/0212 100 t 2012.2.10 償却

今後、オフセット対象商品の販売実績に応じた必要量を適時無効化（償却）して行く予定

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第 1 回カーボン・オフセット大賞の 1 次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

① 名古屋本社における CO2 排出量削減

2011 年度排出量 5,158 トン（対前年度比 -1,267 トン）

原単位あたりの排出量 3,183 トン（対前年度比 -199 トン）

<具体的な取組例>

- ・節電…昼食時オフィス内の消灯、定時での空調自動電源オフ、屋根に井戸水をまくことによるエアコン効率化
- ・節水…トイレの節水、工業用水への井戸水利用
- ・廃棄物の減量化…分別およびリサイクルの強化
- ・省電力機器の導入…LED 電球への切り替え
- ・公共交通機関の利用・呼びかけ…自動車通勤の許可申請制度

② CO2 排出削減努力の必要性・重要性について

社内メール、ブログ、掲示等での呼びかけ。

結果、使わない電気は消すといった行動は全社的に習慣化した。

また、個別の部署で自発的にコピー用紙使用の抑制などの取組をする事例も見られた。

2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

①高級磁器ボンチャイナにカーボン・オフセットを付けたのは業界初の試み（自社調べ）。

原料の調達から製品の輸送にかかる CO2 排出量までをオフセット対象とすることで、製造から販売までを日本国内の自社工場で手掛けるメーカーとしての社会的責任を果たす製品となった。

②2008 年の発売以来、「フローラルパラダイス」シリーズは好調な売上で、2010 年には新色のイエローを追加投入した。

今年冬からはコーディネートアイテムとしてガラス製品も発売し、陶磁器と同じ計算式にてカーボン・オフセットを付与。今後も継続的に「食器で伝えるエコ・メッセージ」として消費者にアピールしていく。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

- ・ カーボン・オフセット付商品のクレジット購入元である国内中小企業および地域経済の振興、地球温暖化抑制
- ・ インドおよびブラジルにおける自然エネルギーの普及およびエネルギー供給の支援
- ・ 社内でのCO2排出削減努力による、地元の地域社会・経済への貢献

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

①カーボン・オフセットについての商品しおり・店頭POPの作成、カタログへの記載、オンラインショップでの紹介、FacebookやTwitter等のSNSでの紹介。

②「フローラルパラダイス」シリーズのカーボン・オフセットについてFacebookにて紹介したところ、「いいね！」が91件。商品紹介に対する当社SNSでの反響としては稀に見る多さだった。

5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

①老若男女誰でも手にする「食器」にカーボン・オフセットを付けていることが一番の魅力。
カラフルな花の絵柄で、「エコ」というキーワードを自然と想起させるデザインを採用しており、
かわいい食器で楽しく社会貢献、というメッセージが伝わりやすい商品である。

- ②上記の通り明るいデザインが特徴であることから、カーボン・オフセットについて紹介する際にはカラフルで目を引くことのできる写真と共に文章を掲載するようにしている。

「フローラルパラダイス」は、自宅用はもちろんギフトとしても人気の高いシリーズで、商品を店頭で買う人・贈られる人・使う人など、販売実数よりもはるかに多い人々がこの商品を手に取り、「カーボン・オフセット」の言葉に触れている。商品を介してエコ・メッセージが広がっていくことが、NARUMI の食器にカーボン・オフセットが付くことの一番の社会的意義である。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局
(担当：入山、井上)

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp